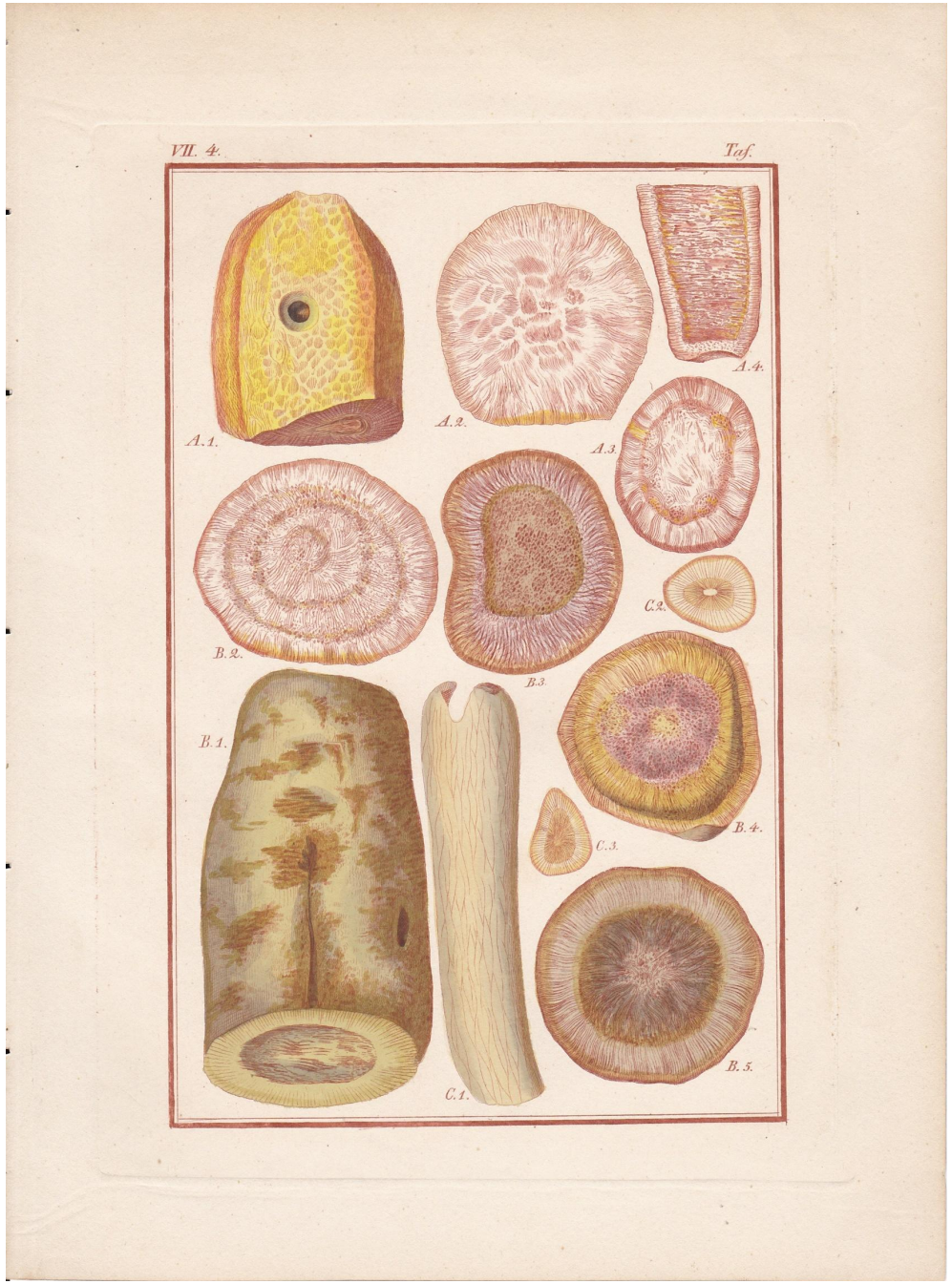

大黄

ダイオウはタデ科に属する多年生草本で、通常は高山地帯に自生します。又、生育環境が同じ様な地で栽培されます。大きい株は人の頭ほどもある根茎を掘り出し、輪切りにして冬の寒い屋外で乾燥します。

本画にはロシア大黄と説明されていますので、中国から輸入された大黄がロシアで集荷され市販されていたものと考えられます。形態から品質的には若干劣る馬蹄大黄に属します。品質的な記述は有りませんが、アントラキノン類は十分含まれており、下剤用に用いられたものと考えられます。大黄は下剤としての使用ばかりで無く、アルコール類の色つけとしての使用があったとの記述も見られます。

本画は1852年ウインクラーにより出版された薬用植物の本の中の1ページで、手彩色によるものです。